※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3006

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	（学）工業実習	単位数	2	年次	３～４
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・工業系各分野に共通して求められる基礎的な知識を学び技術を身につけましょう。
・課題を通じて広い視野からみずから思考し，問題点を適切に判断することができるように努めましょう。授業で学んだことを的確に表現し伝える能力を身につけましょう。
・工業科で学ぶ内容は広範囲にわたりますが主体的に取り組み粘り強く学習しましょう。

2　学習の到達目標

・工業の各分野に関する基礎的な知識や用語を理解する。実習で使用する機械、器具や道具を正しく使用して、正確な作業と高い精度で製作する技術を身につける。
・作業計画をたてて進捗状況を把握し作業効率を考えて作業を進めることができる。課題における問題点について自ら思考し解決法を判断することができる。授業で学んだことを的確に表現し他者に伝える能力を身につけている。
・正確に作業して質の高い作品づくりに主体的に取り組むことができる。周囲に気を配りながら安全に配慮して粘り強く作業する態度を養う。

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・工業の各分野に関する基礎的な知識や用語を理解できる。 ・工業生産について必要な機械や用具について学び適切に使用することができる。 ・実習においては正確な作業と高い精度で製作する技術を身につける。	・授業を通じて広い視野からみずから思考し，基礎的な知識と技術を活用して適切に判断することができる。 ・工業技術に関する基礎を学びながら課題を発見し、問題を解決する能力を養う。 ・授業で学んだことを的確に表現し他者に伝える能力を身につける。	・工業技術について主体的に興味・関心を持ち，その改善向上をめざして意欲的に学習する態度を養う。 ・作業の安全性、正確性、作業効率を身につけるために粘り強く主体的に学習に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	機械	○安全教育 ○金属加工 ○工具の使用法や加工技術の習得	a：基本的な加工材料の特性や作業工程についての知識を理解している。基本的な作業する技術を身につける。 b：各工程に応じて適当な用具や作業方法を選択し、加工の方法・手順について考えることができる。課題を通じて問題点を発見し、自ら思考・判断することができる。 実習内容について適切に他者に説明することができる。 c：作業の安全性、正確性、作業効率を身につけるために主体的に粘り強く取り組もうとしている。	実習態度 作品の完成度	実習態度 作品の完成度	実習態度 振り返り 観察

※令和４年度以降入学生用

前期	電気	○電気工事の基本作業 ○電気計測の基礎	a：図面を理解し安全で安心な施工するための基礎的な知識と技術を習得している。計器・測定器・各種機器の正しい取り扱い方法と接続・結線方法を習得できる。 b：電気工事の基礎的な技術を自ら応用的に利用できる。また、電気計測において各法則を理解し、あらゆる電気現象を考え、問題を解決するため思考・判断することができる。 屋内電気工事での基礎的な施工方法、電気計測の必要性を理解し、安全な設置方法、点検方法について考えている。学習内容について適切に他者に説明することができる。 c：電気工事の実習を通して，電気に関する基礎的・基本的な技術に興味・関心を持ち，主体的に実験に取り組む。意欲的に実験実習を実践しようとしている。	実習態度 作品の完成度	実習態度 作品の完成度	実習態度 振り返り 観察

※令和４年度以降入学生用

後期	建築	○製図用具の扱い方 ○製図の基本演習課題	a: 製図の基本を理解して、初歩的な作業ができる。製図法を理解して製図用具を正しく使用することができる。 製図に関する知識と技術を身につけて課題に取り組むことができる。 b: 作業に応じて適当な用具を選択し製図方法を考えることができる。課題作成の方法・手順について自ら思考・判断して図面をかくことができる。 授業を通じて課題の意図や自分の考えを他者に表現できる。 c: 製図課題に対して興味・関心を持ち主体的に取り組んでいる。図面の作成に意欲的に粘り強く取り組む態度を身につけようとしている。	実習態度 作品の完成度	実習態度 作品の完成度	実習態度 振り返り 観察
	デザイン	○色彩の基礎を学ぶ ○造形の基礎を学ぶ	a: 色彩や造形の方法について理解し、基本的な知識や技術を身につける。 色彩や造形の基本的な知識を身につけて演習課題のなかで活用できている。 b: 作業に応じて適当な用具を選択し、課題作成の方法・手順について思考し問題点について判断することができる。課題を製作するにあたり自らの考えを他者に表現できる。 c: 基礎的な技術や造形とその機能に関心をもって主体的に取り組み，粘り強く学習する実践的な態度を身につけようとしている。	実習態度 作品の完成度	実習態度 作品の完成度	実習態度 振り返り 観察

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度